

彦根市立中央中学校

令和7年度
「わたしがやります！
学校CO₂ネットゼロ」
活動報告書

活動テーマ

服のチカラプロジェクト

取組の概要について

以前から、不要になった子ども服を回収して世界中の難民などに届ける取組を、生徒会を中心に行っている。この取組は、保育園や小学校、公民館などにも回収 BOX を設置して行う地域を巻き込んだ毎年恒例の取組である。

1 意識の変化

これまでから難民救済のための取組として、生徒会が企画して不要になった服を回収してきた。現地に行って助けることはできないけれど、自分たちができることを形にしてきた。毎年恒例の取組だが、ふと立ち止まって考えたとき、リサイクルの新たな視点に気がついた。不要になった服の回収は、ゴミとして処分されないのでも CO₂ 削減にもつながっているという点である。地球温暖化が懸念される今、これまでの先輩方がつないできた取組を、新たな視点も取り入れて行き、CO₂ 削減の意識を広めることにした。

2 実践内容

(1) 事前学習

毎年6月頃に、難民救済を主催されている会社から講師の先生をお迎えして、1年生を対象に、SDGs の概要やリサイクルの意義、服にはどのようなチカラがあるのか、回収した服はその先どのように届けて活用されるのか、などについて教えていただいている。自分たちにもできる社会貢献があることを知るきっかけとなっている。



(2) 地域の服のチカラ

生徒会本部役員が事前に電話し、1学期終業式後に地域のこども園や小学校、公民館へ回収 BOX とポスターを届け、協力をお願いした。



(3) 校内の服のチカラ

ア 常時設置による回収

毎年恒例の周知された取組であることから、いつでも持ってきてもらえるように、回収 BOX は正面玄関に常時設置している。同様に、リサイクルの観点から、地域から依頼されている制服・体操服回収 BOX と彦根市が取り組んでいるコンタクトレンズの空ケース回収 BOX も一緒に並べている。

イ 行事での特別設置による回収

10 月末にひこね市文化プラザで行った合唱コンクールにおいて、会場に回収 BOX を設置することを事前に保護者へメール配信し、協力を依頼した。回収 BOX に入りきらず紙袋の山ができていた様子から、たくさん集まっていることを多くの保護者に見ていただくことができた。また、行事後に学校へ持参される保護者もおられた。

ウ 掲示による PR

歴代の先輩方が取り組んできたことが、CO₂削減や地球温暖化の抑止にもつながっていることを PR するために、掲示物を作成して職員室前に掲示した。掲示物は、特別支援学級にタイトル作成を依頼したり、プロジェクトの流れがわかるように写真で示したりして、伝わりやすいように工夫した。合唱コンクールの際は、会場でもこれを掲示して保護者に PR した。また、さらに意識を高めるために、SDGs 関連の本を購入して一緒に並べた。



4 地域への報告

公民館で行う「中央中博覧会」で写真等を掲示して、取組の様子を地域の方に報告した。

5 成果と課題

新たな視点を取り入れたことで CO₂削減の意識が生まれた。梱包作業に参加した生徒には、すべてを体育館に並べたことで集まった量を実感することができ、このすべてがゴミにならずに済むとともに難民救済や CO₂削減につながることから、さらに意識を高める機会となった。

回収するのは子ども服であるため、すでに回収に協力した家庭が多く、中学校で回収する量は地域に設置した回収 BOX と比べると少ない。だからこそ、取組の PR を工夫して、子ども服を提供できなくても意識だけでは高める必要がある。

6 今後の展望

今後も継続して取り組むとともに、地域の方で欲しい服があれば、梱包前の体育館から持って帰ってもらう仕組みを模索中である。



(4) 梱包・発送

11月下旬、生徒会執行部とボランティア生徒とで集まった子ども服を体育館に並べ、半袖半ズボン、長袖長ズボン、ベビー服に分類して梱包し、発送した。

学校名	彦根市立中央中学校
住所	彦根市西今町1207番地
電話番号	0749-26-0200
E-mail	chuo@mx.hikone.ed.jp